Ether USB-T

取扱説明書

PN J613-C3499-00 Rev.A 981220

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。

分解禁止
本製品の固定されているネジやカバーを外したり、部品を変更し分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。

稲妻危険
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

静電気注意
本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。

取り扱いは丁寧に
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。

適切な場所での使用・保管
以下のような場所での使用や保管はご遠慮ください。

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近などの高温になる場所
- 急激な温度変のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因にもなります)
- 腐食性ガスの発生する場所
- スピーカ付近などの強磁界

動作温度と湿度
本製品は温度0 ～ 40℃、湿度最大95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。

異物を入れないでください
本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

日常のお手入れ
本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。

濡れた場合は使用しない
本製品が万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

この度は、「corega Ether USB-T」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管くださいますようお願いいたします。

1　概要

1.1特長

corega Ether USB-T(以下、本製品と表記)は、USBホストコントローラ搭載パソコン(または、USBハブ)のUSBポート(A-Type)を使い、直接 LANへネットワーク接続するためのボックスタイプの LANアダプターです。

◆特長

●コンパクトサイズで取り付けが簡単なタイプ
ケーブルを接続するだけの簡単な取り付け作業なので邪魔になりません。また、パソコンのカバーを開けたり、シャットダウンといった取り付け作業が必要ありません。

● IEEE802.3規格 10BASE-Tイーサネット対応
ＨＵＢなどを使用した10BASE-Tイーサネット環境でのネットワーク構築が柔軟かつ容易に行えます。

●USB仕様 Ver1.0に適合
USB仕様Ver1.0に適合したUSBコントローラ搭載マシン(または、USBハブなど)を介し、本製品をUSBケーブルで直結すれば、既存のLANに接続できます。

● Plug & Play 対応
ケーブルをマシンに接続するだけでお使いのシステムが自動認識します。面倒なハードウェアの設定は必要ありません。

● 最大8Mbpsのデータ転送が可能
USBフルスピードの転送モードにより、5Mbps～最大8Mbpsのデータ転送を行います。但し、接続されるパソコン、OS、他のUSB周辺機器の環境により、このデータ転送速度は変動しますので、予めご了承ください。

● 32 Bit NDISミニポートドライバを標準添付
NDISドライバーを標準添付しているいますので、最新のＯＳ環境にも対応できます。

● 通信状態をモニターできるLED表示機能
ＬＥＤランプ表示により、ネットワークの接続状態(送受信中やＬＩＮＫの確認)が容易に把握できます。

1.2 USBとは？

USB(ユー・エス・ビー)とは、Universal Serial Busの略で、Intelを中心にMicrosoft、Compaq、NECなどのコンピュータの各企業によって共同開発されたパソコンと周辺機器のインターフェースを高速で動作するための新技術です。ここでは、USBの特徴を以下に記します。

①同一のインターフェース
従来のパソコンと周辺機器のインターフェースは、使用する周辺機器に合わせたもの(RS232C、SCSIなど)でしたが、ＵＳＢは、同一のインターフェースに統一した高速なシリアルバスです。

②別売のUSBハブを使用すれば多数の周辺機器(USB対応)を接続できる
パソコンの周辺機器をツリー構造(USBハブを5台まで使用)で最大１２７台までを接続することができます。

† お客様の運用環境でUSB周辺機器やUSBハブが上記の制限台数を超えた場合、本製品の動作については サポートいたしませんので、予めご了承ください。

③ホットプラグとプラグ＆プレイの対応
”ホットプラグ”により、パソコンの主電源がオンのままで、周辺機器の抜き差しが可能です。また、”プラグ＆プレイ”対応なので、パソコンを動作中にUSB対応デバイスが増設されると自動的に検出し、即時に使用することができます。

注意

ホットプラグ機能では、USBケーブルの抜き差しが自由に行えますが、USBケーブルを頻繁に抜き差したり、複数のUSB対応周辺機器のUSBケーブルを同時に抜き差したりすると、コンピュータのハングアップや、Windows98ファイルの破壊を招く恐れがあります。
P8の「USB使用時の注意」をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので、予めご了承ください。

④USBケーブルの使用
USB対応デバイスを接続するには、”USBケーブル”と呼ばれる専用ケーブルを使用します。このUSBケーブルは、パソコン側に接続するA-Type(アップストリーム)とUSB対応デバイス側に接続するB-Type(ダウンストリーム)の両端に区別されています。USBケーブルを周辺機器と接続する間の最大ケーブル長は、５Ｍまでとなります。

1.3 対応コンピュータ機種と対応OS

本製品は、USBホストコントローラを持つ以下のコンピュータ機種または、USBハブに対応しています。ご使用パソコンを確認してください。

- **AT互換機およびNEC PC98-NX**
- **NEC PC-9821シリーズ**

本製品は、以下のオペレーティングシステム(以下OSと表記)で動作します。

- **Windows 98**

本製品は、Windows98 プリインストール(Windows98 が予めインストールされている)のパソコン上での動作をサポートしており、Windows98 へアップグレードしたパソコンをお使いの場合、本製品の動作が不安定な場合はございますので、予めご了承ください。
また、USB増設ボードをご使用になりUSBポートを拡張した際は、正しく取りつけご使用ください。尚、本製品が正しく通信できない場合は、ご使用増設ボードメーカーにお問い合わせください。

1.4 各部の名称と働き

図1.4.1～図1.4.4をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

① **corega Ether USB-T本体**
コンピュータのUSBポート(A-type)を搭載マシン(またはUSBハブ)からUSBケーブルを直結し、RJ45より10BASE-T(カテゴリー3,4,5)を接続することで、LANアダプターの機能を提供します。

② **RJ-45モジュラージャック**
UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクターです。

③ **LEDランプ**
次の２つのLEDがあります。
LINK(緑色):対向機器と正常にリンクが確立されると緑色に点灯します。
ACT (橙色):パケットの送受信が行われているときに橙色に点滅します。

④ **MACアドレス**
本製品のMACアドレスが記載されています。MACアドレスについては、「付録A MACアドレス」をご覧ください。

† 本製品貼付のMACアドレスラベルに、バーコードが記載されておりますが、シリアル番号ラベルとは異なりますので、ユーザーサポートのお問い合わせ時には、シリアル番号(次頁)をお申しつけください。

⑤　**USB ポート（B-type:ダウンストリームポート）**
「⑧USB ケーブル（フルスピードタイプ）」の B-Type プラグを直結するコネクターです。

図1.4.1

⑤USBポート
（B-Type）

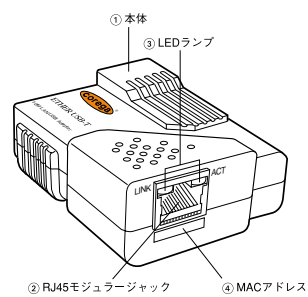
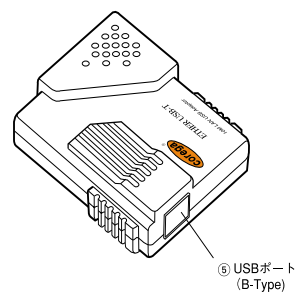



図1.4.2

⑥シリアル番号ラベル
⑦製品ラベル

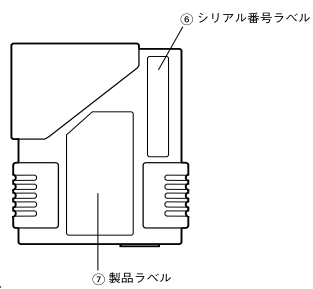



図1.4.3

⑥　**シリアル番号ラベル**
本製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚程同梱されており、パッケージ（外箱）にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、本取扱説明書巻末の「製品保証書」に貼付してください（残りは、予備です）。<u>シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。</u>

⑦　**製品ラベル**

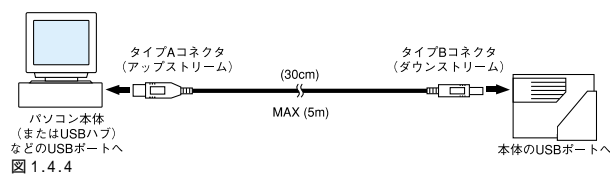
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記されています。必ずお読みください。

⑧　**USB ケーブル(フルスピードタイプ)**

corega Ether USB-T とホスト PC(または、USB ハブ)を接続するケーブル(フルスピードタイプ)です。USBケーブルには、以下の2種類に区別されますのでご注意ください。

・ロースピード=シールド無しの信号2 本、/データ転送速度(1.5Mbit/sec)

・フルスピード=シールド付きのツイストペア1 対、データ転送速度(12Mbit/sec)

図 1.4.4

1.5 付属ドライバーディスク

本製品のドライバーディスクには、以下のドライバーが含まれています。このマニュアルの内容よりもさらに詳しい情報が必要な場合は、ドライバーディスクに含まれる「README.1ST」ファイル†をご覧ください。

- **Windows98 用 NDIS ドライバー**

\README.1ST(Read me first.)は、このマニュアルに記載されていない最新の情報やドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。

---

† README.1ST は、以下の手順でお読みください。

①Windows スタートメニューの「プログラム」—「アクセサリ」—「メモ帳」を実行します。

②「ファイル(F)」—「開く(O)」で、ご使用パソコンのフロッピードライブの「README.1ST」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

例)フロッピードライブを「A:」ドライブとした場合:A:\README.1ST

2　取付・配線

2.1　本製品をホストPC(または、USBハブ)へ接続する。

以下の手順で本製品を接続してください。

①本製品とUSBケーブルを接続します。
本製品のUSBポート(B-type)にUSBケーブルのB-typeプラグを｢カチ｣と差込ます。このとき、プラグのUSBアイコン(矢印が表示されている側)を上にして差し込んでください。

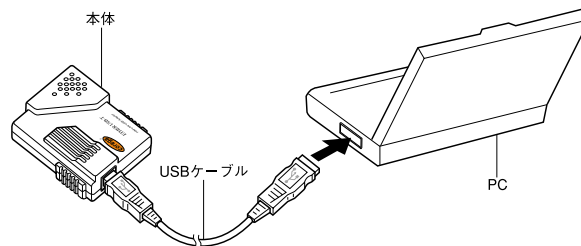



図2.1 USBケーブルの接続

②本製品をホストPC(またはUSBハブ)に接続します。
Windows98は、ホットプラグをサポートしているので、コンピュータに電源をオンにした状態でUSBポートへ接続することができます。

(1)　手順①で差し込んだUSBケーブルのもう一端側のA-Typeプラグをパソコンの PC(または、USBハブ)のUSB A-typeポートへ手応えがあるまで差し込んでください。(USBプラグの向きにご注意ください。†)

† USB ケーブルのアイコンはUSB Ver1.0仕様で定められるいるアイコンです。

(2)　USBポートのA-Typeプラグを差し込むと、Windows98は、Plug&Playにより本製品を検出します。

(3)　初めて本製品をご使用になる場合は、本製品の付属のドライバーをインストールする必要があります。†
尚、本製品のドライバーをインストール後に再び本製品を接続する場合は、ホットプラグ機能により、ドライバーを再インストールしなくてもプラグの抜き差しが自由に行えます。

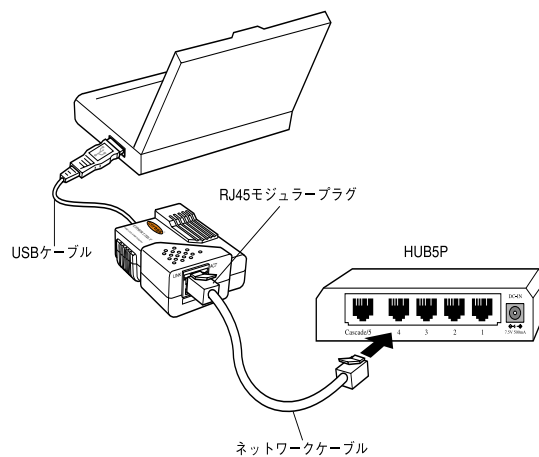



図 2.2　ネットワークケーブルの接続

† 　初めて本製品を差込むとき、すなわち本製品用のドライバーのインストールが行われていない場合、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し、ドライバーのインストールが開始されます。詳細は、後述の「3 Windows98 へのインストール」をご覧ください。

もう一方の A-type プラグの差込み方法は、USB ハブなどの USB 機器によっては、下や横に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となりますので USB ケーブルの差込に関しては、必ずご使用の USB 機器のマニュアルをご覧ください。

2.2　USB ケーブルの取り外し

USBは、ホットプラグをサポートしているので、コンピュータに電源をオンにした状態で本製品に接続されているUSBケーブルをホストPC(USBハブ)、及び、本製品のUSBポートから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、以下の点にご注意ください。

ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Telnet やデーターベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

■ **USB(ユニバーサル シリアル バス)使用時の注意**

本製品には、USBインタフェースが標準搭載されており、USB対応周辺機器を使用するために各USB対応周辺機器に必要なUSBコントローラ用デバイスドライバも組み込まれております。USB対応周辺機器は、ご使用パソコンメーカが動作を保証している製品を使用してください。

- **スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品のUSBケーブルの挿抜は行わないでください。**
- **本製品(または、本製品の接続されているUSBハブ)のUSBケーブルの挿抜を行うときは、必ず、１０秒以上間隔をおいて行ってください。**
- **USBハブ経由で本製品を使用するときは、USBハブをコンピュータに接続してから、USBハブのB-typeポート(ダウンストリーム)に本製品を接続してください。**
- **USBハブに本製品を接続したままUSBハブをコンピュータに接続すると、正常にUSBデバイスが認識できない場合があります。**
- **本製品が正常に認識されていない場合は、一度本製品を抜き差ししてください。**

ホットプラグ機能では、USBケーブルの抜き差しが自由に行えますが、USBケーブを頻繁に抜き差したり、複数のUSB対応周辺機器のUSBケーブルを同時に抜き差したりすると、コンピュータのハングアップや、Windows98ファイルの破壊を招く恐れがあります。上記の「USB使用時の注意」をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので、予めご了承ください。

2.3 LANへの接続

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

(1) UTPケーブルのRJ45プラグを、本製品のRJ-45モジュラージャックに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、カテゴリー３以上(10BASE-T)のものをご使用ください。

(2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

(3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)のLAN接続可能なモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。

† UTPケーブルの外す場合は、RJ45プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

3　Windows98 へのインストール

本製品のドライバーを Windows 98 にインストールする手順を説明します(ここでは、ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない場合のインストール手順について説明します)。

ここに挙げた手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が若干異なることがあります。また、本書では、AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

3.1 用意するもの

・corega Ether USB-T 本体、USB ケーブル、ネットワークケーブル
・コンピュータ(Windows98 インストール済み)
・corega Ether USB-T のドライバーディスク(本製品付属)
・Windows98 の供給ディスク(CD-ROM またはフロッピーディスク)

Windows98がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98のバックアップCD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。**バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のためにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。** バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.2 インストールする前に

■ USB ハブをご使用になる方へ

本製品を別売のUSBハブを介してご使用になる場合は、USBハブを正しく接続してください。特に、他にもUSBハブにUSB周辺機器を複数接続して、本製品を使用すると、電源供給が不足し、正しく通信できない(または、動作しない)場合があります。 この場合は、USBハブにAC アダプターを正しく取りつけることをお勧めします。

† 尚、USB ハブの正しい接続方法については、ご使用 USB ハブの取扱説明書をご覧ください。

■ USBコントローラの確認

ドライバーをインストールする前に、以下の手順でパソコンのUSBポートが使用可能状態であることを確認してください。使用可能な状態のとき、Windows98 が本製品を自動認識され、本製品が使用できます。

USB コントローラや USB 周辺機器(USB ハブを使用している状態)の名称の左側に「×」「！」「？」マークが付いているときは、使用できない状態です。パソコンの取扱説明書を参照するか、パソコン(周辺機器)メーカーにお問い合わせください。

(1) コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動します。この時点では、まだ本製品を取り付けないでください。

(2) 「スタート」をクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を起動します。

(3) 「システム)」アイコンをダブルクリックします。

図3.2.1「システム」アイコン

(4) 「システムのプロパティ」ダイアログが起動します。続いて、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

図 3.2.2

(5) 「デバイスの一覧」から「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の ＋ をクリックします。

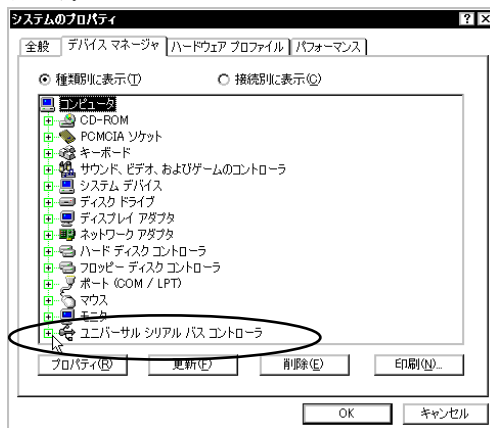



図3.2.3　ユニバーサルシリアルバスコントローラのクリック

(6)　ユニバーサルシリアルバスコントローラの下側には、ご使用パソコンのUSBコントローラ名と接続されているUSB周辺機器（USBハブ）の名称が表示されます。各デバイス名称の左側に「×」「！」「？」などのマークが付いていないことを確認してください。[†]

† 「×」「!」「?」マークが表示されている場合は、ご使用の USB 周辺機器が正しく接続されていません。ご使用の USB 周辺機器メーカにお問い合わせください。

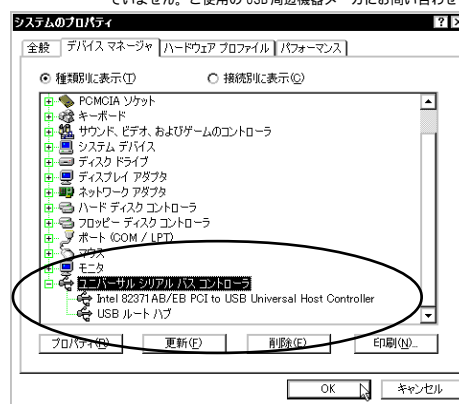



図3.2.4 ユニバーサルシリアルバスコントローラの確認

USB コントローラの名称は、ご使用のコンピュータ - の機種により異なります。また USB ハブの名称もご使用の USB ハブによって異なります。上記のダイアログは一例です。また、通常、ユニバーサルシリアルバスコントローラは、「USB ホストコントローラ」の名称と「USB ルートハブ」が 2 列表示されます。

(7)　以上で USB コントローラの確認は終了です。

3.3 ドライバーのインストール

(1) 以下の手順で、本製品を取り付けてください。

① 本製品にUSBケーブルとネットワークケーブルを取り付けてください。

② パソコンの電源をオンにしたままで、ホストPC(または、USBハブ)のUSBポートにUSBケーブルを差し込んでください。

† USB ケーブルやネットワークケーブルの取り付け方法については、「2 取付・配線 」をご覧ください。

(2) Windows98は、Plag&Play機能により「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し、本製品を「corega Ether USB-T」と検出されます。続いて、「次へ」をクリックします。

図3.3.1 新しいハードウェアの追加ウィザードの起動

(3) ドライバーディスクの検索方法を選択する画面が表示されますので、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) 」ラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。

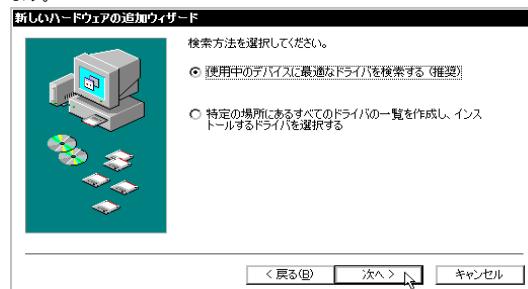



図3.3.2 検索方法の選択

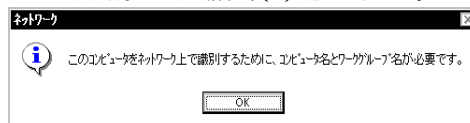
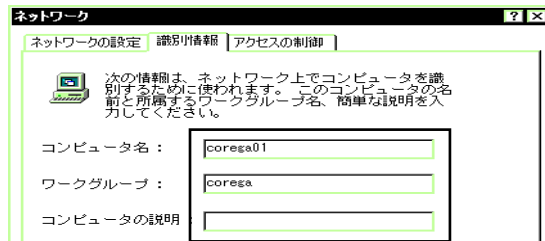
(4)　場所を選択する画面が表示されますので、「フロッピーディスクドライブ(F)」のみチェックを入れ、corega Ether USB-T のドライバーディスク(本製品付属の FD)をフロッピードライブに挿入し、「次へ」をクリックしてください。

図3.3.3 ドライバーディスクの検索場所

hint 自動検索を行わず「場所の指定」ボタンをクリックして、ディレクトリを直接指定することもできます。その場合は、「A:」と指定してください。ここではフロッピードライブを「A:」と仮定します。

(4)　本製品のドライバーディスクよりアダプター情報が読み込まれ、「corega Ether USB-T」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

図3.3.4 「corega Ether USB-T」のアダプター情報の読み込み

(5)　ご使用のコンピュータに初めてネットワークアダプターをインストールする場合は次のダイアログが表示されます。内容を読んだ上で「OK」をクリックしてください。このダイアログが表示されない場合は、(6)に進んでください。

続いて、次のダイアログが表示されます。ネットワーク管理者に確認の上、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名とワークグループ名およびｺﾝﾋﾟｭｰﾀの説明(省略可能)を入力してください。

ネットワーク
ネットワークの設定　識別情報　アクセスの制御
次の情報は、ネットワーク上でコンピュータを識別するために使われます。このコンピュータの名前と所属するワークグループ名、簡単な説明を入力してください。
コンピュータ名：　corega01
ワークグループ：　corega
コンピュータの説明：

hint

コンピュータ名およびワークグループ名の入力には、15 文字以下の半角英数文字を使用します。詳細は、Windows98 のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」→「ネットワーク」を起動し、「識別情報」タブで変更してください。

(6)　ドライバーおよび必要なWindows98のファイルのハードディスクへのコピーが開始されます。コピーの途中でやドライバーファイルやWindows98関連ファイルを要求される場合は、以下をご覧になり操作してください。尚、Windows98の供給ディスクの要求に対しては、ご使用のWindows98形態に応じて以下のようにパスを入力してください。

■Windows98 供給ディスク(CD-ROM または、フロッピディスク)の要求

「ファイルのコピー」ダイアログの途中で、以下のようなWindows98供給ディスクや本製品のドライバー以外のファイルが見つからないと表示される場合があります。AT互換機/PC98-NXシリーズの場合は、パスとして「D:\win98」と入力し、PC9821シリーズの場合は、「Q:\win98n」と入力し、Windows98のCD-ROMを指示してください。ここでは、CD-ROMドライブ名をそれぞれ［D:」および「Q:」と仮定します。

■ドライバーディスクの要求

以下のようなダイアログがと表示され、本製品のドライバーディスクを要求された場合は、本製品ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

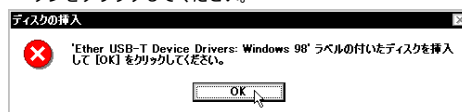



図3.3.5　ドライバーディスクの要求ダイアログ

■プリインストール版Windows98の場合

この場合はWindows98ファイルが既にハードディスクにコピーされています。ダイアログではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「C:\windows\options\cabs」を指定してください。ここではWindows98の起動ディスクドライブをC:と仮定します。

「COUSBT.SYSが見つからないのでWindows98のCD-ROMやフロッピーディスクを入れてください」というようなダイアログが表示される場合は、ドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、ディレクトリとして「A:\」を入力してください。「COUSBT.SYS」はドライバーディスクに収められているファイルです。ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。

図3.3.6　COUSBT.SYSの要求ダイアログ

(7) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」という画面が表示されますので、確認後、「完了」をクリックしてください。

図3.3.7 インストールの完了ダイアログ

(8) 「システム設定の変更」ダイアログが表示され、パソコンの再起動が要求されます。「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。（フロッピーディスクは、取り出してください。）**このダイアログが表示されない場合は、(9)に進んでください。**

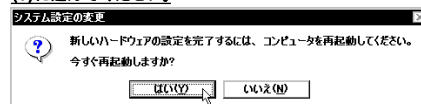
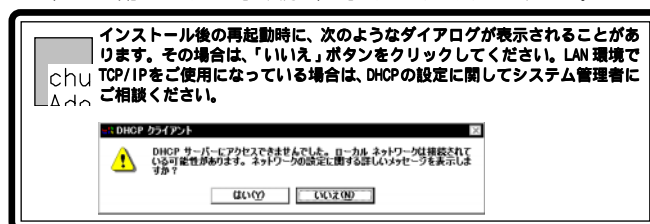



図3.3.8 システム設定の変更ダイアログ

パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログが表示された場合は、「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

> インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。
>
>
>

(9) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

3.4 インストールの確認とアダプターの設定

インストール後、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.4.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

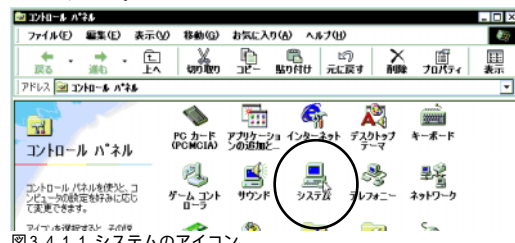



図3.4.1.1 システムのアイコン

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「ネットワークアダプター」の下に「corega Ether USB-T」が表示されます。

図3.4.1.2 正常にインストールされた場合

本製品のアイコン「corega Ether USB-T」に「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

図3.4.1.3 インストールが失敗している場合

(3) 「corega Ether USB-T」を選択(反転表示)し、「プロパティ」→「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

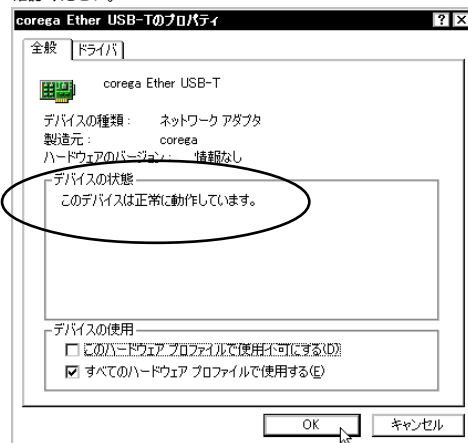



図3.4.1.4 正常なデバイスの状態

3.4.2　　ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。

ディスクやプリンンターを共有(ピアツーピアでネットワーク接続)する場合のネットワークの設定例については、**本取扱説明書の「B．ネットワークの設定例」を参照してください。**

図3.4.2　ネットワークの設定

3.5 ドライバーの更新手順について

ドライバーの更新は、本製品の最新ドライバーを入手した場合にドライバーを更新する際に実行します。

(1) Windows98の供給CD-ROMをご使用コンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」の下の「corega EtherUSB-T」を選択して、「プロパティ(R)」ボタンをクリックしてください。

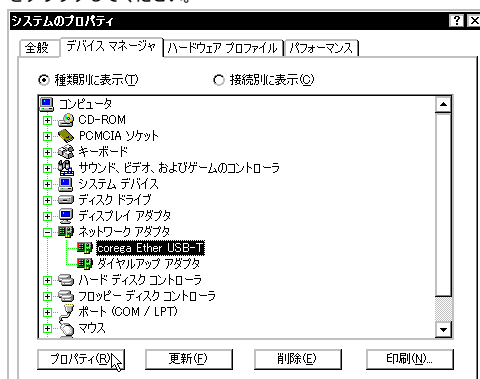



図3.5.1 corega Ether USB-T のプロパティ

(3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新(U)」ボタンをクリックしてください。

図3.5.2 ドライバの更新ボタン

（4）「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

図3.5.3 ドライバ更新のウィザード

（5）「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

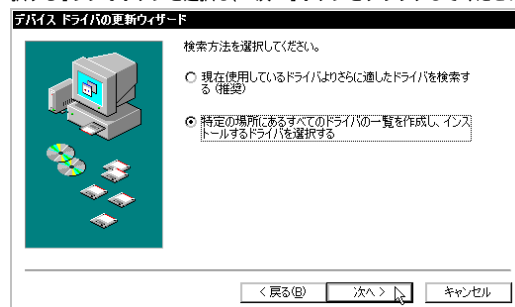



図3.5.4 ドライバの検索方法の選択

(6) 「ディスク使用(H)...」ボタンをクリックしてください。

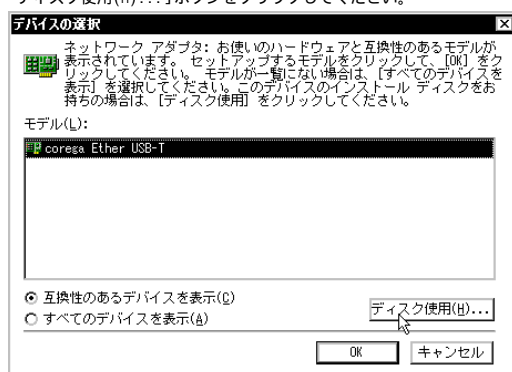



図3.5.5 ディスク使用ボタン

(7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:\」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

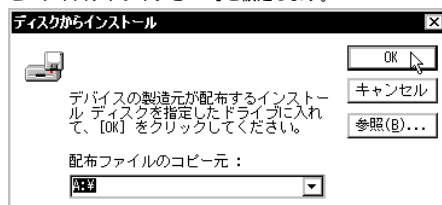



図3.5.6 ドライバーディスクの指示

(8) Windows98によって本製品のドライバーディスクが検索され、「デバイスの選択」ダイアログのモデル名には、「corega EtherUSB-T」が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

このダイアログは閉じ、図3.5.5 に戻りますが、**図3.5.5 が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1〜2分)。**†

† 処理中ですので、マウスやキーボードには触れずにお待ちください。

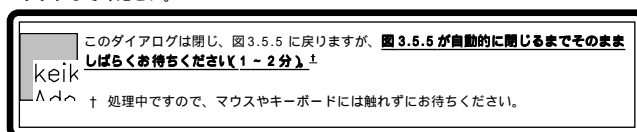
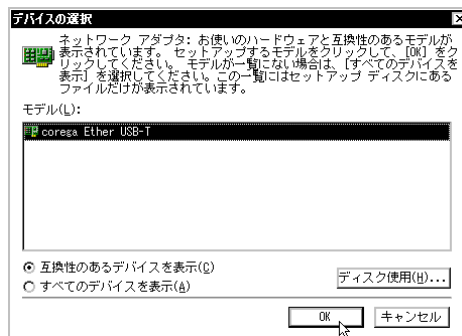



図3.5.7「OK」ボタンをクリックし、しばらく待ちます。

(9) 次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:\NETCOKK.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

図3.5.8

(10) ファイルのコピーが開始されます。

■ コピーの途中で、Windows98 の CD-ROM が要求されたら、Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

■　「COUSBT.SYSが見つかりません」というような、ダイアログが表示された場合は、本ドライバーディスクが挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」で「A:\」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します

† 本製品のドライバー「COUSBT.SYS」は、ドライバーディスク内に入っております。

「ファイルのコピー」ダイアログの途中で、本製品のドライバー(COUSBT.SYS)以外のファイルが見つからない場合や、Windows98 関連ファイルを要求される場合があります。この場合は、Windows98 供給ディスク(CD-ROM)を挿入し、AT 互換機 /PC98-NX シリーズの場合は、パスとして「D:\win98」と入力し、PC9821 シリーズの場合は、「Q:\win98n」と入力し、Windows98 の CD-ROM を指示してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名をそれぞれ［D:」および「Q:」と仮定します。

(11) ドライバーの更新が終了します。「完了」ボタンをクリックしてください。

図 3.5.9

(12) Windows98 の再起動を要求されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい(Y)」をクリックしてコンピュータを再起動してください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

3.6 ドライバーの削除手順について

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。<u>ドライバーのインストールに失敗した場合も</u>、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」アイコンをクリックして、下に表示される「corega Ether USB-T」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

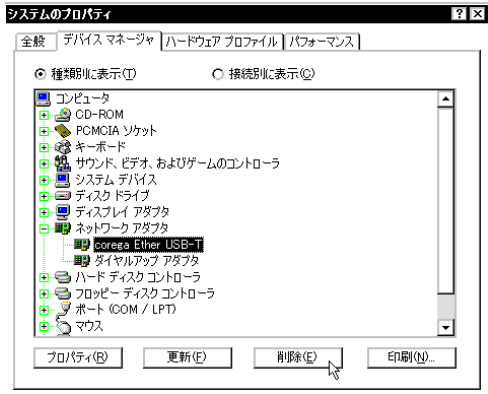



図3.6.1　ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図3.6.2　デバイス削除の確認

上のダイアログで選択する項目が表示された場合は、「すべての設定から削除」を選択してから、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) Windows98の再起動を要求されますので、本製品の接続されているUSBケーブルをパソコン本体(または、USBハブ)より取り抜き､｢いいえ(N)｣をクリックしてください。

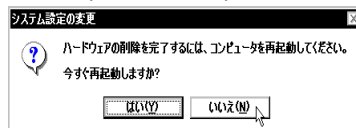



図3.6.3 コンピュータの再起動

(4)｢ネットワークアダプタ｣の下で本製品のアイコンが消えていることを確認し､｢閉じる｣をクリックしてください。

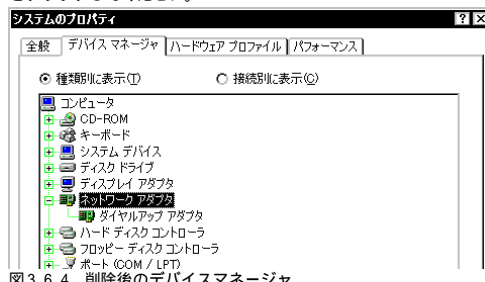



図3.6.4　削除後のデバイスマネージャ

(5) Windows98を｢終了｣し、コンピュータの電源を切断してください。この後コンピュータを起動すると、コンピュータは、本製品のドライバーを削除して起動します。

ドライバーを削除した後に、再び本製品を使用する場合は、本製品を取り外さずにWindows98を再起動してください。すると再び、ドライバーのインストールが、Windows98によって自動的で開始されます。

3.7 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) ｢3.6 ドライバーの削除手順について｣に従い、本製品のドライバーを削除します。

(2) ｢3.3 ドライバーのインストール｣の手順に従い、本製品のドライバーをインストールします。

4 ドライバーのトラブル

ドライバーのインストール後の代表的なトラブルの対処方法について説明します。以下の手順は、本製品を取り付けた状態で行ってください。

4.1 本製品を認識しない

「3.4 インストールの確認とアダプターの設定」に従い、インストールの確認を行った際に「corega Ether USB-T」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。以下の手順(1)～(3)でドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。

■「ネットワークアダプタ」の項目がない

ドライバーインストールの作業中に行われるnetapi.dllなどのWindows98関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

■「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってしまった

以前、本製品のドライバーのインストールまたは、削除を行ったことがあり、「新しいハードウェア」ダイアログで「ドライバをインストールしない(D)」を選択するとこのような状況に陥ることがあります。ドライバーを再度インストールしてください。
また、本製品または、ホストPC(USBハブ)から、USBケーブルを一度抜いて、再度奥まで差し込み直してみてください。

■デバイスマネージャで「！」「？」マークが付く

ドライバーをインストール後にパソコンを再起動しない場合はや本製品が正しく接続されていない場合に､「!」「?」マークはマークが付きます。

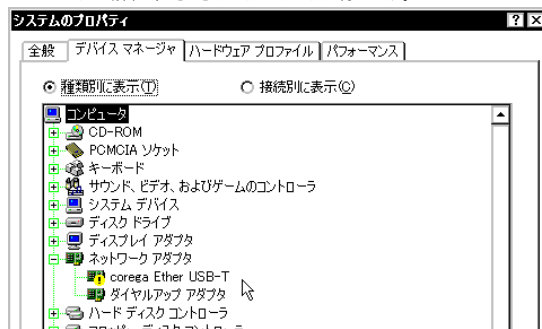



図4.1 「!」マークの例

(1) 不正にインストールされた「corega Ether USB-T」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

(2) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。「デバイス削除の確認」ダイアログで選択する項目が表示された場合は、「すべての設定から削除」を選択してください。

(3) 本製品を取り付けたままの状態で再起動してください。「3.3 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

以下のよにデバイスマネージャの「corega Ether USB-T」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の((1)〜(2)の手順に従い、アダプターを使用許可の状態に切り替えてください。

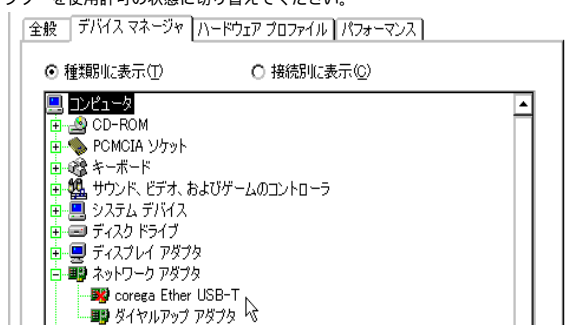



図4.2.1 「×」マークの例

(1) 「corega Ether USB-T」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「情報」タブを表示します。

(2) 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェックを付けてください。

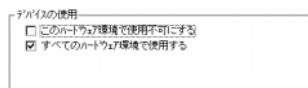



図4.2.2 使用許可の切り替え

4.3 ご使用パソコンの確認

ご使用パソコンのOSがWindows98のプリインストールタイプでない場合(Windows98からアップグレートされたパソコンなど)は、ご使用のパソコン本体がWindws98のPlag & Play機能やホットプラグ機能に対応していない可能性があります。また、USBコントローラの動作および仕様が不安定な場合もありますので、インストール後やトラブルシューティングの手順で操作しても正常に動作しない場合は、ご使用パソコンメーカーへお問い合わせください。
尚、以下のような現象の場合は、ご使用パソコンのUSBコントローラや本製品の故障と思われます。

■ 昨日まで正常に動作していたのに、急に通信ができなくなってしまった。

上記のような場合は、現象および調査内容を本マニュアル巻末の「調査依頼書」に明記の上、coregaサポートセンターまでFAXしてください。(詳細は、「D．ユーザーサポート」をご覧ください。)

5　ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

5.1 LINK LEDは点灯していますか？

LINK LEDは、ネットワーク上のハブ（またはスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

■ハブに電源が入っているか確認してください。
■ UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
■正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
■ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
■ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
■ハブを使用せずに、コンピュータとコンピュータを直接接続する場合は、「クロスタイプのUTPケーブル」を使用しなければなりません。コンピュータとコンピュータが正しく接続されていれば、両方のコンピュータのLANアダプターのLINK LEDが点灯します。

5.2　LINK LEDは点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

■UTPケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
■正しいUTPケーブルを使用していますか？本製品は、10BASE-Tの「カテゴリー3」以上のものが使用できます。また、ケーブルの不良は外観から判断しにくいため、他のケーブルに交換して試験してみてください。
■ USBケーブルの長さは正しいですか？本製品とホストPC（または、USBハブ）間のケーブあるは、最長で5mと規定されています。
■ USBハブによるデージーチェーン構成でUSBハブの台数が5台を超えていませんか？

A　付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

準拠規格　：IEEE802.3　10BASE-T
ＰＣｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ　：USB 仕様 Ver1.0
コネクター　：[USB 側] B-type アップストリームポート ×１
　：[LAN 側] RJ45 ポート <10BASE-T> × １
適合ｹｰﾌﾞﾙ　：[USB 側] USB シールドケーブル５Ｍ以内(製品付属ケーブル推奨)
　：[LAN 側] 10BASE-T カテゴリー３、４、５

2. 機械的仕様

外形寸法　：67.8(W) x 55.4(D) x 25.3(H) mm
重量　：５１ｇ(USB ケーブルは除く)

3. 電気的仕様

動作電圧　：DC ＋5V ±5%
消費電流　：110mA
(USB ホストコントローラまたは、USB ハブからの電源供給)

4. 環境条件

動作保証温度　： 0～40 ℃
保存温度　： -20～70 ℃
動作・保存湿度　： 95%以下(ただし、結露なきこと)

6. 電気雑音の発生防止

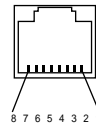
取得規格　：VCCI クラス B

7. ネットワーク機能

通信速度　：最大 8Mbps

A.2 RJ45モジュラージャック

本製品には、RJ-45型と呼ばれるモジュラージャックを使用しています。図A.2.1に、10BASE-T RJ45モジュラージャックの信号線を図示します。

(1) TX+ 送信データ(+)
(2) TX- 送信データ(-)
(3) RX+ 受信データ(+)
(4) --- 未使用
(5) --- 未使用
(6) RX- 受信データ(-)
(7) --- 未使用
(8) --- 未使用

図A.2.1 RJ-45 モジュラージャック

A.3 MACアドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス†と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト(48ビット)によって構成されており、本アダプターの 内部 に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、本製品のRJ45ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸの下側に貼付されているMACアドレスラベルに記載されています (表記は全て16進数)。

† MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

B ネットワークの設定例

「3.4.1　インストールの確認」でアダプターのインストールが正常であることを確認後にネットワーク環境に接続し、データを送受信するまでの設定方法について説明します。データを実際に送受信するためには、各々パソコンへの設定が必要となります。
ここでは､「ピアツーピア接続」するためのネットワークの設定を例に挙げて説明しております。尚、設定する項目は、お客様の環境に合わせて設定してください。

B.1 ピアツーピア 接続するための設定方法

ピアツーピア接続するためには、以下①～④の順番で全てのパソコンに各ネットワーク設定を行ってください。

①｢Microsoft ネットワーククライアント｣､｢NetBEUI｣の確認

→**｢B.2　Microsoft ネットワーククライアントとNetBEUI の確認｣**を参照

設定するパソコンに｢Microsoftネットワーククライアント｣､｢NetBEUI｣が表示されない場合は、ネットワーク構成に追加する必要があります。

→**｢B.7　Microsoft ネットワーククライアントとNetBEUI の追加方法｣**を参照

②｢Microsoft ネットワーク共有サービス｣の追加

→**｢B.3　Microsoft ネットワーク共有サービスの追加方法｣**を参照

③ユーザー情報(コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明)の確認

→**｢B.4　ユーザー情報の確認手順｣**を参照

④パソコンの共有設定

→**｢B.5　パソコンの共有設定の方法｣**を参照

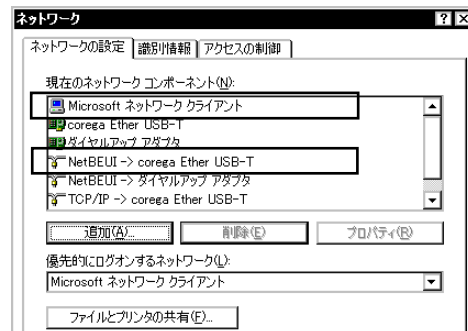
上記の全ての設定確認ができたら、実際に他のパソコンへ接続してみましょう｡**｢B.6　他のパソコンへ接続方法｣へとお進みください。**

B.2　Microsoft ネットワーククライアントと NetBEUI の確認

以下の手順に従い、Microsoftネットワーククライアント｣､｢NetBEUI｣がネットワーク構成に組み込まれているかを確認してください。

1) **｢スタート｣→｢設定｣→｢コントロールパネル｣と進みます。**
2) **｢コントロールパネル｣より､｢ネットワーク｣アイコンをダブルクリックします。**
3) **｢ネットワーク｣ダイアログボックスの｢現在のネットワーク構成(N)｣の一覧に｢Microsoft ネットワーククライアント｣と｢NetBEUI｣が表示されていることを確認してください。**

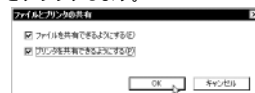
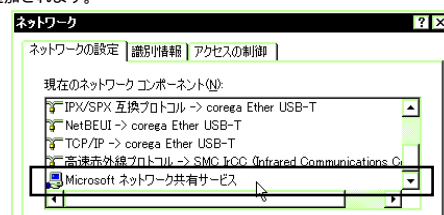
組み込まれていない場合は､**｢B.7　Microsoftネットワーククライアントの追加方法｣及び｢B.8　NetBEUI の追加方法｣**で追加してください。

■ネットワークアダプターが複数の場合の例

† 組み込まれているネットワークアダプターが本製品だけの場合は、アダプターの製品名(例 corega Ether USB-T)は表示されません。

B.3 Microsoftネットワーク共有サービスの追加方法

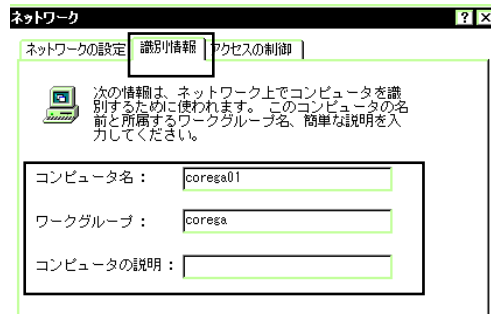
以下の手順に従い、Microsoft ネットワーク共有サービス」を追加してください。

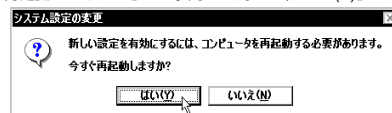
1) ネットワーク設定にある「ﾌｧｲﾙとﾌﾟﾘﾝﾀの共有(F)」メニューをクリックします。

2) 「ﾌｧｲﾙとﾌﾟﾘﾝﾀの共有」ダイアログの「ﾌｧｲﾙを共有できるようにする」および「ﾌﾟﾘﾝﾀを共有できるようにする」のチェックボックスをクリックして(オン)、「OK」ボタンをクリックします。

3) 現在のネットワーク構成(N)の一覧に「Microsoftネットワーク共有サービス」が、追加されます。

B.4　ユーザー情報の確認手順

続いて以下の手順に従い、ユーザー情報を確認してください。

1) 「ネットワーク」ダイアログの「識別情報」タブをクリックします。

2) 「識別情報」タブに表示される「コンピュータ名」、「ワークグループ名」、「コンピュータの説明」を確認します。

ワークグループ名は、ピアツーピア接続する全てのパソコンに同じ名前(グループ名)を設定してください。例)corega
また、コンピュータ名およびワークグループ名の入力には、15文字以下の半角英数文字を使用します。詳細は、Windows98のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

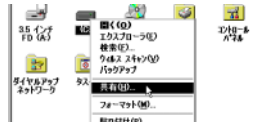
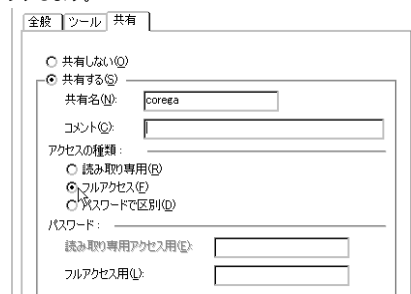
3) 「システム設定」ダイアログが表示され、パソコンの再起動が要求されます。「今すぐ再起動しますか？」という問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックします。

4) パソコンを再起動すると、起動時に「ネットワークパスワードの入力」ダイアログが表示されますので、「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

「ユーザー名」と「パスワード」は、毎回必ず入力してください。特にパスワードは、自由に決定できますが、忘れないようにご注意ください。入力しない(または、間違っている)場合は、ネットワークを使用できません。

B.5　パソコンの共有設定の方法

ドライブやフォルダの共有を（ネットワーク経由でファイルの読み書きができるように）設定します。ここでは、「マイコンピュータ」の中のCドライブを共有する手順を例に挙げます。以下の手順に従い、ドライブやフォルダを共有設定してください。

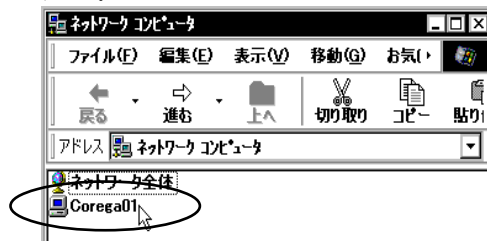
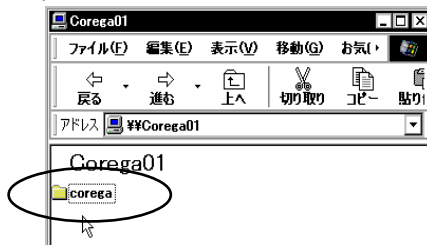
1)　デスクトップにある「マイコンピュータ」アイコンをタブルクリックします。

2)　共有したいドライブ（または、フォルダ）のアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」メニューを選択します。

3)　以下の共有設定画面の「共有する(S)」チェックボックスを選択し、「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」を確認または、設定し、「OK」ボタンをクリックします。

●共有しない　：ドライブの共有を解除するときに選択します。
●共有する　　：ドライブの共有を設定するときに選択します。
●共有名　　　：共有するドライブの名称を変更することが出来ます。
●コメント(C)　：共有するドライブやフォルダに対する説明を入力します。
　　　　　　　（必ず入力する必要はありません）
●アクセス権の種類：共有するドライブに対して読み書きの許可を設定します。
・読み取り専用(R)　：共有するドライブを読み込み専用にします。
・フルアクセス(F)　：共有するドライブに読み書きを許可します。
・パスワードで区別(D)：パスワードにより、読み書きを許可します。
●パスワード　：「アクセス権の種類」に対するパスワードです。
・読み取り専用ｱｸｾｽ用(E)：読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
・フルアクセス用(L)：読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

B.6　他のパソコンへ接続方法

「B.2〜B.5」でネットワーク設定が全て完了したら、他のパソコンに接続してみましょう。以下の手順で接続します。

1)　デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。ピアツーピア接続されているパソコンが表示されます。

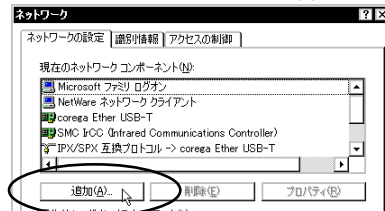
2)　表示されているパソコンのアイコンから接続したいパソコンをダブルクリックしてください。

3)　「B.5　パソコンの共有設定」で、「共有する」と設定されたドライブ（またはフォルダ）が共有名で表示されます。

4)　上記3)で表示されたドライブ（またはフォルダ）の共有名アイコンをダブルクリックすると、「共有する」と設定されている中身（ファイルやフォルダ）が表示され、アクセスが可能となります。

タイミングによって接続したいパソコンが表示されない事もあります。その際は、「ネットワークコンピュータ」を再表示、または「表示」メニューの「最新の情報更新」を選択してください。

以上で、LANアダプタの設定は全て完了です。ネットワークを利用した快適な環境でパソコンをお使いください。

B.7 「Microsoft ネットワーククライアント」と「NetBEUI」の追加方法

ここでは、「Microsoft ネットワーククライアント」および「NetBEUI」の追加方法について説明します。以下の手順に従い、操作してください。

1) 「スタート」メニューの「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」を選択し、「ネットワーク」ダイアログで、「追加(A)」ボタンをクリックしてください。

2) 「インストールするネットワーク構成ファイル」の一覧より、「Microsoft ネットワーククライアント」の場合は、「クライアント」を、「NetBEUI」の場合は、「プロトコル」を選択し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

以下を参考に「Microsoft ネットワーククライアント」および「NetBEUI」を追加し、最後に「OK」ボタンをクリックしてください。

● Microsoft ネットワーククライアント

「追加(A)」→「クライアント」と進み、以下を選択し、「OK」ボタンを押します。

・「製造元」→「Microsoft」　・「ﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」→「Microsoftﾈｯﾄﾜｰｸｸﾗｲｱﾝﾄ」

● NetBEUI

「追加(A)」→「プロトコル」と進み、以下を選択し、「OK」ボタンを押します。

・「製造元」→「Microsoft」　・「プロトコル」→「NetBEUI」

「B.2　Microsoft ネットワーククライアント、NetBEUI の確認」に戻り、「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」が追加されていることを確認してください。

C 保証

本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。

D ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書の記入について」をご覧ください。

corega サポートセンター
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20
Tel: 045-476-6268　10:00-12:00、13:00-17:00　月〜金(祝・祭日を除く)
Fax: 045-476-6294　年中無休 24 時間

D.1 調査依頼書の記入について

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ハードウエアとソフトウエア

- 本アダプタ上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号(SN)、製品リビジョンコード(Rev) を調査依頼書に記入してください。
- ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン(Ver.)／シリアル番号を記入してください。それらは、ドライバディスクのラベル上に記入されています。
- 他社のインターフェースボードやユーティリティをご使用の場合は全てご記入ください。
- 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

■お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトしたものなどを添付してください。
- 障害などが発生する場合には、本アダプタと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

D.2 システムリソースレポート添付のお願い

お問い合わせの際には可能な限り、システムリソースレポート(お使いのコンピュータの詳細情報をOSが自動作成するレポート)を出力の上、「調査依頼書」に添付いただきますようお願いいたします。システムリソースレポートを出力する手順は以下の通りです。

(1) コントロールパネルから「システム」を起動し「デバイスマネージャ」タブを表示します。

(2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。

(3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

■システムレポートの出力例(Windows95の場合)

ここでは、Windows95の場合の出力例で説明しておりますので、予めご了承ください。

ｼｽﾃﾑ ﾘｿｰｽ ﾚﾎﾟｰﾄ　 -　ﾍﾟｰｼﾞ：1

****************** ｼｽﾃﾑの概要 ******************

Windows ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ ： 4.00.950
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名： 不明
CPU の種類： Pentium
ｼｽﾃﾑ ﾊﾞｽの種類： ISA
BIOS 名： Phoenix
BIOS の日付： 01/08/97
BIOS のﾊﾞｰｼﾞｮﾝ： Phoenix NoteBIOS Version 4.05
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの種類： IBM PC/AT
数値ｺﾌﾟﾛｾｯｻ： Not Present
登録ｵｰﾅｰ：ＸＸＸＸＸＸ
登録会社：ＸＸＸＸＸＸ

****************** IRQの概要 ******************

IRQ の使用 ：
00 - ｼｽﾃﾑﾀｲﾏｰ
01 - 106 日本語 （A01） ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ （Ctrl+英数）
02 - ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ可能な割り込みｺﾝﾄﾛｰﾗ
03 - 通信ﾎﾟｰﾄ （COM2）
04 - 通信ﾎﾟｰﾄ （COM1）
05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive
06 - ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ﾌﾛｯﾋﾟｰ ﾃﾞｨｽｸ ｺﾝﾄﾛｰﾗ
07 - ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾎﾟｰﾄ （LPT1）
08 - ｼｽﾃﾑ CMOS/ﾘｱﾙ ﾀｲﾑ ｸﾛｯｸ
10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller
10 - PCI ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ用 IRQ ﾎﾙﾀﾞｰ
ﾞ用 IRQ ﾎﾙﾀﾞｰ
130 CardBus C

D.3 最新ドライバーの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーは、弊社のホームページから入手することができます。また、このホームページではFAQ、コンピュータの動作検証リストなどの情報もご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

(1) Microsoft Internet Explorer、Netscape NavigatorなどのWebブラウザを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp

(2) 「サポート」→「LANカード・ドライバソフトダウンロード」をクリックしてください。

(3) ご希望のドライバーをクリックしてください。

D.4「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」は、コレガ株式会社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、次のアドレスでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

http://www.corega.co.jp/inter/news/news.htm

調査依頼書(corega Ether USB-T 1/2)

年　月　日

一般事項

1．御社名：
　部署名：　　　　　　　　　　　　　　ご担当者：
　ご連絡先住所：〒

　　TEL:　(　　)　　　　　　　　FAX:　(　　)
2．購入先：　　　　　　　　　　　　購入年月日：
　購入先担当者：　　　　　　　　購入先(TEL):　(　　)

ハードウエアとソフトウエア

1．ご使用のハードウエア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega EtherUSB-T

S/N________________ Rev___

ドライバディスクのバージョン Ver. _____ pl ___

2．ご使用のパソコン機種と併用している他メーカーの拡張アダプタ（ボード）
　パソコンのメーカー名／機種：
　OSとバージョン：
　拡張アダプタのメーカー名／機種：

3．ご使用のサーバー機種（UNIX、NetWare、WindowsNTなど）
　パソコンのメーカー名／機種：
　OS：

お問い合わせ内容

□別紙あり　□別紙なし
□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

調査依頼書(corega Ether USB-T 2/2)

年　月　日

ネットワーク構成

□別紙あり □別紙なし
簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

1998年12月20日　　Ver. 1.0 pl 0　　初版

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・本製品本体：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。（ただし、本規定の他の条項に準じます。）

・本体付属品（ドライバディスク、USBケーブルなど）：3ヶ月間保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1．使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2．お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3．火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4．接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5．車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6．消耗品の交換（バックアップ電池など）
7．製品保証書の提示がない場合
8．製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■本製品に付属のドライバー・ソフトウェアが他社の提供するハードウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■本ハードウェアが他社の提供するソフトウェア、またはアプリケーション・ソフトウェアと共有できるという動作保証、および使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してくださ

製品保証書（ 1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　**corega Ether USB-T**

シリアル番号 （SN）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先 **coregaサポートセンター** 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20 **TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294** 受け付け時間：10:00～12:00／13:00～17:00 月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。